

市民フォーラムアンケート結果

1 概要

今年度第1回の市民フォーラムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、フォーラム実行委員会のメンバーで制作した動画配信等による情報発信及びアンケートによる意見募集を行う形式で実施

(1) 動画の内容 (約 30 分)

- ・ノーマライゼーションプラン金沢2021 (骨子素案) の説明
- ・実行委員会委員から骨子素案について意見発表 など

(2) アンケート内容

- ・骨子素案について
- ・新型コロナウイルスの影響 など

(3) アンケート受付期間

- ・令和2年10月1日 (木) ~ 10月16日 (金)

2 アンケート結果概要

(1) 回答件数 122件 (郵送等97件、Web25件)

(2) 回答内容

① あなたご自身のことについてお尋ねします (単位：人)

障害のある方本人	60	
家族	27	
ボランティア	1	民生委員と重複記載あり (民生委員で計上)
福祉事業従事者	11	家族と重複記載あり (家族で計上)
民生委員	19	
その他	4	知的障害者相談員、理学療法士など
性別	男性 71、女性 51	
年齢	30歳未満 0、30代 6、40代 18、50代 23、60代 27、70歳以上 48	
参加実績	はじめて 47、過去参加あり 74、未回答 1	

② 今回の動画があることをどのようにしてお知りになりましたか (単位：人)

市の広報	6	所属団体からの通知	52	市からの郵送案内	47
任意回答	16	施設 (14)、実行委員関係 (3)、メール (2)、YOUTUBE (2)、金沢市 HP (2)・LINE (1)、サークルからの LINE メール (1)			
未回答	1				

③ 今回の動画配信による市民フォーラムについてどう思われましたか。

(主な肯定的意見)

- ・ 会場に行かなくても、いつでも何度でも閲覧可能
- ・ コロナ禍の中で有効
- ・ 手話があるのが良い

(主な否定的意見)

- ・ 通常開催のような共有、共感、意見できないのが残念
- ・ 30分は長い、内容が難しい
- ・ 動画を見ることができない方には不利

④ ノーマライゼーションプラン金沢2021骨子素案の関心のある施策別紙のとおり

⑤ その他、次期ノーマライゼーションプランや市に対する意見

- ・ プランに新型コロナウイルス感染症に関する項目を新設してはどうか。
- ・ ICTの更なる活用を求めるが、情報弱者への配慮も必要である。
- ・ 共生社会実現には地域社会との問題共有が不可欠であり、様々な組織体と共同でプランを推進することを明文化すべきである。
- ・ 制度を作るだけでなく、必要な方に的確に届ける施策が必要である。
- ・ 福祉活動で個人情報の保護がネックになっている。
- ・ 障害と高齢の一体的なプランがあってもよい。
- ・ 65歳で介護に移行した際に、これまでのサービスが利用できなくなった。

3 新型コロナウイルスの影響に対するアンケートでの主な意見

- ・ 感染することへの不安
- ・ 在宅自粛生活による心身の不調、介護者の負担増による疲弊
- ・ もし、本人や家族が感染した場合、どう対応できるか見通せず不安
- ・ その他、障害特性による不都合

(聴覚) マスクで口元、表情読み取れない

(視覚) ものを触っての確認が出来ない

(重度知的) 通所施設内でのマスク未着用で迷惑かけないか、感染しないか不安

別紙 ノーマライゼーションプラン金沢2021骨子素案の関心のある施策

施策名	件数		主な意見（理由）
I ともに生きる	60	49%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活支援拠点の充実 ・ 親なき後の安全・安心に向けた取組の充実 ・ 地域包括ケアシステムの更なる推進 ・ 卒業後も安心できる体制・受入先が必要 ・ ヘルプマーク、HELPカードの周知度が不足 ・ 心のユニバーサルデザインを推進 ・ 障害のある人、ない人双方の努力で共生社会の実現を図るべき ・ 虐待防止は重要 ・ 防災・安全対策の更なる充実 ・ 重度障害がある方の在宅生活を送るための支援の推進（重度訪問介護など、在宅支援制度を知らない人が多い） ・ 人材の確保と質の向上は重要 ・ ボランティアの高齢化、人材不足の懸念
II 働く	25	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般企業の障害に対する理解の向上 ・ サポートする人材が多く必要 ・ 特性（能力）を生かした就労、幅広い分野での就労の拡大 ・ 文化芸術活動を通じた就労支援に期待 ・ 就労に向けたリハビリ専門職の評価による運動機能訓練が必要
III 得る	9	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共料金の減免
IV 豊かに育つ	25	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業後のケアも必要 ・ 豊かな友達関係を築き、本人が成長するための支援が必要 ・ 家族への支援の強化 ・ インクルーシブな環境での育ちが重要 ・ 寝たきりの子の外出支援
V 学ぶ	14	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ教育の推進 特別支援学校と地域の学校の交流など ・ 教員の障害に対する専門性の向上 ・ 障害のある児童の学ぶ環境の充実（ICT教育など）
VI 遊ぶ	9	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術の才能がある障害のある方への支援 ・ 文化活動、スポーツ交流の充実

施策名	件数		主な意見（理由）
Ⅶ つきあう	31	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自助グループ同士等の交流の促進 ・ 市民側の意識向上 ・ 地域の会議等への障害のある人の参加拡大 ・ 社会の手話に対する理解が不足 ・ 様々な施設での手話通訳の設置 ・ 趣味等への手話派遣 ・ 電話リレーサービスの実現 ・ 要約筆記者の充実 ・ 生活訓練の充実
Ⅷ 出かける	27	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援サービスの更なる充実 ・ 建築物・道路も含む交通関係のユニバーサルデザインの推進 ・ I C Tの利活用による利便性の向上 ・ 音声信号の充実（設置個所、作動時間帯の拡大） ・ 金沢の文化修景との兼ね合いの視点も必要 ・ 金沢駅に音声案内字幕の設置 ・ 様々な施設での手話通訳の設置 ・ 点字案内に加え、拡大文字の案内が必要 ・ オストメイトトイレの増設 ・ インフラだけでなく人づくりが重要
Ⅸ すこやかに暮らす	33	27%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人が重篤化することを防止する対策 ・ 早期発見のための検診の充実や家族啓発（特に精神） ・ 医療費助成の充実 ・ 病院や介護事業所での手話通訳 ・ 病院の障害特性の理解向上
Ⅹ 知る	17	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各障害の特性に応じた分かりやすい情報提供が必要 ・ 書類の簡略化 ・ I C Tの活用推進（音声認識技術等） ・ 災害時、電光掲示板での情報提供 ・ 情報弱者に対する対応
Ⅺ 参加する	10	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人の参加の促進
Ⅻ 使う	7	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口の拡大 ・ 相談支援体制の充実（I C Tの活用等）